

# 第七次国有林野施業実施計画書（案）

## （中部山岳森林計画区）

自 令和 8 年 4 月 1 日  
計画期間  
至 令和 13 年 3 月 31 日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとに定める5年間の計画である。本計画の計画期間は令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間である。

## 目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法 及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
(1) 伐採造林計画簿	1
(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4) 伐採総量	3
(5) 更新総量	5
(6) 保育総量	5
3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	6
4 林道の整備に関する事項	7
5 治山に関する事項	8
6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
(1) 保護林の名称及び区域	9
(2) 緑の回廊の名称及び区域	13
7 樹木採取区の名称、所在地及び面積	13
8 レクリエーションの森の名称及び区域	14
9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備 及び保全等に関する事項	
(1) 森林共同施業団地の名称及び区域	20
(2) 公益的機能維持推進協定の名称及び区域	20
10 その他必要な事項	
(1) 施業指標林、試験地等	20
(2) フィールドの提供	21

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位: ha、年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
小面積分散伐区	2,294.26	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齡、林相が異なる多様な森林。	スギ 60
			ヒノキ 75
			カラマツ 60
長伐期	580.61	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齡において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	アカマツ 75
			スギ 120
			ヒノキ 150
人工林複層伐 (植栽型)	446.31	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	カラマツ 100
			(常時複層) スギ 120[60] 85[60]
			ヒノキ 150[75] 100[75]
			カラマツ 100[60] 85[60]
			(一時単層) スギ 80[60]
			ヒノキ 95[75]
			カラマツ 80[60]

(単位:ha、年)

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
人工林面的複層伐 (植栽型)	68.07	複数の小班からなる一団のまとまりの人工林において、帯状又は群状で伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	スギ 120[60] 85[60] ヒノキ 150[75] 100[75] カラマツ 100[60] 85[60]
天然林複層伐 (天然更新型)	186.28	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成(階層構造)する森林。	針葉樹 200 広葉樹 180
人工林抲伐	993.37	人工林又は天然林において、抲伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成(階層構造)する森林。	針葉樹 95(35)
天然林抲伐	1,325.15	人工林又は天然林において、抲伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成(階層構造)する森林。	針葉樹 200(35) 広葉樹 180(25)
その他の	5.21	試験地等の設定目的による森林。	
合計	5,899.26		

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 ( ) は回帰年、[ ] は複層林の初回伐採の伐期齢である。

3 人工林複層伐の常時複層状態となるタイプの二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたもの。

### (3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位:ha)

施業群分類	上限伐採面積	備考
通常伐期施業	152.95	小面積分散伐区
長伐期施業	19.35	長伐期
複層林施業	57.15	人工林複層伐(植栽型)・人工林面的複層伐(植栽型)
天然林・その他施業	341.01	天然林複層伐(天然更新型) 人工林抲伐・天然林抲伐

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間(5年)分の主伐面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、上限伐採面積に含まない。

## (4) 伐採総量

(単位: m<sup>3</sup>、ha)

区分	林地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	(68.96) 14,845	(1,192.03) 126,471	(1,260.99) 141,316				
	(68.96) 14,845	(1,091.01) 116,834	(1,159.97) 131,679				
		(101.02) 9,637	(101.02) 9,637				
自然維持タイプ		(25.29) 2,274	(25.29) 2,274				
森林空間利用タイプ		(12.50) 1,625	(12.50) 1,625				
快適環境形成タイプ							
水源涵養タイプ	(189.31) 71,603	(626.97) 60,284	(816.28) 131,887				
	(155.28) 55,812	(397.97) 34,463	(553.25) 90,275				
		(95.23) 9,875	(95.23) 9,875				
		(26.85) 4,344	(26.85) 4,344				
	(34.03) 15,791	(8.92) 1,701	(42.95) 17,492				
		(98.00) 9,901	(98.00) 9,901				
合計	(258.27) 86,448	(1,856.79) 190,654	(2,115.06) 277,102	19,898	297,000		297,000
年平均	(51.65) 17,290	(371.36) 38,131	(423.01) 55,420	3,980	59,400		59,400

(注) ( )書きは、伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m<sup>3</sup>)

市 町 村 名	林 地		
	主 伐	間 伐	計
松 本 市	29,538	82,623	112,161
大 町 市	6,502	26,465	32,967
塩 尻 市	49,131	62,198	111,329
安 疊 野 市	1,277	6,295	7,572
松 川 村		1,811	1,811
白 馬 村		4,676	4,676
小 谷 村		6,586	6,586

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位:ha)

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
人工 造林	単層林造成	4.41				98.57	102.98
	複層林造成	28.55				20.42	48.97
	計	32.96				118.99	151.95
天然 更新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	ぼう芽						
	計						
合計		32.96				118.99	151.95

## (6) 保育総量

(単位:ha)

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
保育	下刈	111.48				558.97	670.45
	つる切						
	除伐	11.93				98.01	109.94
	枝打						
	計	123.41				656.98	780.39

## 3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

(単位：ha)

所在地（林小班）	面積
147い・ろ・ち、148い～へ・る、149ほ・と・ち、150ち、151い、152い・ち・ら、153い・な、 218は、236ろ・わ・つ1・つ2・ね・ら～ふ・え・め、243い・ほ・か、319ろ・は、320ち、 325い、326に、327は、328に、329い、332ろ、334ほ・へ、337い、338ほ、343い、344り、 346い・ろ・に、348い～ほ・と、358い・ろ・ほ・へ、362へ、363ろ、364い・ろ、367い、 368い、385い・よ・れ、388い・に・る、396ち、399い～は・ほ・と・よ、400ろ・に・り～る・か・ た・つ・ね、401ろ、629は・ち、1503は、1511い、1515は、1516い・に、1523い～に・へ・と、 1524い・ろ・と・り～る、1534い～は、1539ろ・は、1541い、1542い・ろ、1546い、 1547い・に～へ・り、1548は、1549い・は～へ、1551へ、1553に、1558ろ・に、1573ろ・は、 1577へ、1578ろ・に～へ、1579ろ、1580と～り、1582は・る～れ・つ、1584ろ、1590い、 1591ろ、1593ろ～ほ・と～り、1594ろ～る、1598い～へ・ち・り・る・た、1599い、1600い～ぬ・ た・れ、1601は・に・へ・ち・わ・よ、1602い～に・へ～ぬ、1603い・ろ・へ～ち、1605い・る	880.27

(注) 林地以外の土地の面積を含まない。

## 4 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
基幹	開設	鹿島川（大ゴ沢）	503	1箇所	1,000
		計		1箇所	1,000
	改良	湯川	138	1箇所	20
		横川	(民有地内)	2箇所	78
		乳川馬羅尾（馬羅尾）	582・587	1箇所	14
		奈川黒川（奈川）	396	1箇所	36
		奈良井	1515・1548	1箇所	125
		贊川橋戸（橋戸）	1616	5箇所	172
		贊川橋戸（贊川）	1601・1602	2箇所	125
	計			13箇所	570
その他	開設	羽渕	1501・1502・1504	1箇所	1,000
		奈良井支線	1509・1510	1箇所	1,000
		計		2箇所	2,000
	改良	境峠	400	1箇所	23
		福沢	1605・1606	1箇所	95
	計			2箇所	118
合計	開設			3箇所	3,000
	改良			15箇所	688

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

## 5 治山に関する事項

(単位:保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計画量
大川沢、大合沢、岩小屋沢、扇沢、白沢、芦間川、合戦沢、北股、白川下流、白川上流、奈良井坊主岳、贊川坊主岳、贊川沢、橋戸沢、六百、又白、西穂、湯川、浦川、横川	保全施設	渓間工	20
合戦沢、糠沢、奈良井坊主岳、橋戸沢、北股、長塙、焼岳、中ノ湯、湯川、坂巻、浦川、横川	保全施設	山腹工	12
又白、西穂	保全施設	その他	2
中部山岳森林計画区管内の保安林区域内（予定地含む）	保安林の整備	保安林改良	160.44
合 計	保全施設	渓間工	20
		山腹工	12
		その他	2
	保安林の整備	保安林改良	160.44

(注) 1 位置は、単位流域を表す。

2 保全施設の計画量（箇所）は、単位流域の数を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

## 6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

### (1) 保護林の名称及び区域

(単位: ha)

区分	名称	面積	位置(林小班)	特徴等	備考
森林生態系保護地域	北アルプス (金木戸川・ 高瀬川源流部)	3,647.06		日本海型から太平洋型気候 の推移帶である本州中部に位置 し、また、標高が1,300m～ 3,200mの範囲におよぶ北アル プス(飛騨山脈)を代表する 原生的で多様な天然林が存在 している。 自然環境の維持、動植物の 保存、新しい時代における森 林に関する技術の発展、学術 研究に資するための森林の生 態系を保護する。	
	保存地区	1,598.47	549ろ・口 589は・イ・ハ・ニ		
	保全利用地区	2,048.59	549い・に・ほ・イ 588ハ・ニ・ヘ・ト 589い・ろ・口・ホ	北アルプスを代表する原生 的な天然林で亜高山帯から高 山帯への推移が顕著であり、 動物の種類も豊富であること から、保護・管理する。	
計	1箇所	3,647.06			

(単位:ha)

区分	名称	面積	位置(林小班)	特徴等	備考
生物群集保護林	雨飾・天狗原山	1,565.06	601は、602は・イ 603よ・口 607い～ほ・イ 608い～は・イ 610イ、611に・イ 612へ	豪雪地帯における典型的な日本海型のブナ植物群落を保護・管理する。	
	北アルプス (朝日・白馬連山)	1,281.19	621イ・ト 625イ・口・ハ・チ・リ 626イ・ハ 627イ	我が国でも有数の高山植物の豊富な地域で、国の特別天然記念物となっている高山植物群落を保護・管理する。	
	梓川・霞沢 ・焼岳	2,572.24	74ろ・イ、75イ 79い、80い・イ・口 81い～ほ・イ・口 82い～ほ・口・へ 83口、84ハ、85り 86口、87ろ・イ 117い・ろ・イ・口 118い・ろ・イ～ハ 119い・ろ・イ～ハ 120い・イ～ハ 121い～に・イ・口 122い～は、124い 125い・口 126い・口～ニ 127い・口	上高地に至る梓川渓谷一帯の亜高山性の天然林及び霞沢山一帯の高山植物等の原生的な植生、噴出溶岩等特異な山容を示す焼岳一帯を保護・管理する。	
	北アルプス (蝶ヶ岳・大天井岳・槍ヶ岳・穂高岳)	7,161.15	14イ、15イ、18イ 94い・イ・口 95い・イ、100い・口 101い・口 102い・イ・口 103い・イ・口 104い・イ～ハ 105い・イ～ニ 106い・ろ・ハ・ニ 107い～は・口・ニ・ホ ト・チ 108ろ～に・口・ハ 109い・口・ハ	高山帯はハイマツ群落を形成し、亜高山帯上部はダケカンバ、クロベ、ヒメコマツ群落を保護・管理する必要がある。	

(単位:ha)

区分	名称	面積	位置(林小班)	特徴等	備考
生物群集保護林	北アルプス (蝶ヶ岳・大天 井岳・槍ヶ岳・ 穂高岳) 続き		110い・イ、111い・口 112口、113は・口 114に・イ・ハ、115ほ 210い・イ・口 211わ・イ、212い・イ 220は・イ、221は・イ 222ろ・イ、223ろ・イ 224ろ・イ、227イ		
	鷲羽岳 硫黄 高瀬渓谷	2,550.30	548い・ろ・は・イ 588い～は・イ・ロ・ホ チ～ヌ	天然カラマツ、キタゴヨ ウ、コメツガ等から構成され る亜高山帯針葉樹林を保護・ 管理する。	
	北アルプス(黒 部・五竜・針ノ 木・白沢天狗)  中部山岳: 3,217.48 神通川: 7,535.39 計: 10,752.87	3,217.48	508に・イ、509は・イ 510ハ、512イ、513イ 514イ、515イ、516と 517い・ろ、518い～は 519は・に 520ぬ～わ・イ、521イ 523イ・ロ、524イ 525イ、532イ	コメツガ、シラビソ、ダケ カンバ等から構成される亜高 山帯、ハイマツ等からなる高 山帯及び高山植物群落を保 護・管理する。	
	乗鞍岳  中部山岳: 1,605.84 宮・庄川: 4,133.84 計: 5,739.68	1,605.84	126に・イ、127に・イ 128た・れ・ニ 129ち・り・イ・ロ 130は・に 134ろ～に・イ 135ろ～に・イ 136ほ～と・イ・ロ 137へ・と・イ・ロ 143ほ～と・イ～ハ 144り・ぬ・た・イ・ロ ヘ・ト 145と・た・イ 146ろ・は・イ 147と・る・イ 148よ・た・イ	乗鞍岳山頂部に広がる火山 群カルデラ(湖沼)等の特徴 ある地形・地質と、亜高山帯 から高山帯に分布する植生等 により構成される生態系、景 観等を保護・管理する。	
計	7箇所	19,953.26			

(単位:ha)

区分	名称	面積	位置(林小班)	特徴等	備考
希少個体群 保護林	風吹スギ遺伝資源	11.26	632い2・ち	我が国有数の豪雪地帯に生息するスギ天然林は希少であり、その遺伝資源を保護・管理する。	
	鹿島ヒノキ等遺伝資源	10.94	502ら2・む・う	我が国のヒノキ分布の北限部の一つである希少天然林であり、その遺伝資源を保護・管理する。	
	湯俣キタゴヨウマツ・カラマツ遺伝資源	63.76	547ほ~と・る・わ	カラマツ等と混成するキタゴヨウマツの大面積群落であり、その遺伝資源を保護・管理する。	
	上高地ケショウヤナギ	50.90	86に、89に 90は・イ、110ろ・ロ	昭和3年に我が国で最初に発見され、分布が限られている希少樹種のケショウヤナギ等の遺伝資源を保護・管理する。	
	梓湖	302.25	141い~は・イ~ニ 155い~は	この地域を代表するミズナラ、カンバ等の天然性広葉樹林の植物群落を保護する。	
計	5箇所	439.11			

## (2) 緑の回廊の名称及び区域

(単位 : km、 ha)

名 称	延 長	面 積	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑 の 回 廊 雨 飾 ・ 戸 隠	10.4	1,983.75	609林班 610い・ろ 611い～は・ほ 612い～ほ・と 613林班 614林班 615林班 616林班	緑の回廊設定区域は、雨飾・天狗原山生物群集保護林から千曲川下流計画区にまたがり、野生動物の日常行動や季節移動等の経路をつくることにより、個体の交流を促す等、森林生態系の構成者である野生動植物の多様性の保全を図ることを目的とする。 林況は、ブナを主とする広葉樹天然林が大半を占めている。 施業については「緑の回廊雨飾・戸隠設定方針」による。	
合 計	10.4	1,983.75			

## 7 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし

## 8 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位 : ha)

種類	名称	面積	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察教育林	扇沢	22.10	524と・る・よ 525ろ・は・る・か・つ～な	黒部ダム・立山黒部アルペンルートの玄関口に位置しており、白馬方面、三俣蓮華岳方面への登山の基地となっている。周囲は亜高山性樹種を中心とする森林に囲まれ、山岳景観が優れており、多くの利用者が集まることなどから自然観察教育林の場として適している。	天然生林	・トロリー施設 (民間) ・歩道 (大町市) ・駐車場 (大町市・民間)		
			524口～ニ・ト・チ・タ～ネ 525ト		林地以外			
上高地		608.77	84ろ・へ、85に  82へ、83ろ～ほ・と～る、84は～ほ・と～り、85ろ・は・ほ～ち、86い 88ろ、100ろ 111ろ・は・は、112ろ 113ろ、114ろ・は 115は・に・へ 116ろ、117は 118は	大正池を初めとする湖と湿原を有する平準な梓川一帯にある。北アルプスを背景にした涸沢、横尾、梓川の渓谷美など素晴らしい自然景観に恵まれ、容易に訪れることができることから、自然観察教育の場として適している。	育成複層林	・歩道 (長野県・環境省・松本市) ・山小屋・旅館 (民間) ・駐車場 (長野県)		
			82ハ～ホ・ト 83イ・ハ～ト 84イ・ロ・ニ～リ 85イ、86イ・ハ 89イ、100ニ 106イ、107ハ・リ・ヌ 111イ・ハ～ホ 112イ、113イ 114口、115イ 118ニ～ヘ		天然生林	・便所 (環境省・松本市) ・野営場 (民間)		
					林地以外			
計	2箇所	630.87						

(単位 : ha)

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ地域	岩岳	160.23	628な、629へ・り・ぬ ・る1～る3・よ～れ ・む・お・く・や1・や2・ ま 628ら 629ほ・わ・か1～か 6・う・の 629ハ	白馬・小谷村界の岩岳山の西側斜面に位置し、標高1, 000～1, 300mの地域で、東側の民有地と一体となり、歴史ある岩岳スキー場として発展してきており、山頂には白馬三山（白馬岳、杓子岳、白馬鑓ヶ岳）を望める展望エリアや「ねずこの森自然探勝路」が設置され、スキーからトレッキングに等に至るまで、通年型利用が可能となっている。	育成 複層林 天然 生林 林地 以 外	・歩道 (白馬村・第三セクター) ・園地 (第三セクター) ・スキー場 (民間)		
乗鞍		195.67	144そ・つ 142い、144い～は・ る・わ～よ・ね・な 142イ 144ハ～ホ・チ	北アルプスの最南端に位置し、標高が高く、雪量が多いことからスキーシーズンが長い。雪質も良好で初心者から上級者まで対応できる富んだコースをを持つスキー場として親しまれ、隣接地の観光施設と一体的に四季を通じて利用されている。	育成 複層林 天然 生林 林地 以 外	・スキー場 (民間) ・歩道 (長野県)		
奈川		50.84	402に、403へ 405ろ～と 406ろ 405イ～ハ	旧奈川村の鉢盛山西麓に広がり、乗鞍、穂高、御岳の眺望に優れている。県の木曽路原高原休養開発計画の一環としてスキー場開発がされてきた地域である。緩急に富んだ地形で雪質も良く、主に中京方面の利用者に親しまれている。	天然 生林 林地 以 外	・スキー場 (松本市)		
計	3箇所	406.74						

(単位 : ha)

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	天狗原	239.39	635ろ～に 653口・ハ	白馬乗鞍岳直下の平坦地にあり、チングルマ、ワタスゲ等が生育する高層湿原と、わい小化したアオモリトドマツ等を主とする森林からなり、森林限界付近で明るい景観を呈している。	天然生林 林地以外			
	中房渓谷	294.20	203わ、204ろ・と～る・よ・つ・ね・む・の・お 205ろ～に、208は 211に 203ら、204い・は・に・へ・か・た～そ・ら・う・く 205い・ほ、208い・ろ・に、209と、210 に・へ・ち、211い～は・ほ・た 212へ・と、213ろ 215む・う 204口、205口・ハ 208へ・チ、215イ	県道槍ヶ岳・矢村線沿線から中房渓谷・中房温泉周辺を区域としており、四季折々訪れる多くの湯治客や登山者等を魅了する美しい自然景観と色調の森林美を構成している。	育成複層林 天然生林 林地以外	・旅館 (安曇野市) ・駐車場 (安曇野市)		
	乗鞍岳	110.00	143に 144ち 143ニ・ホ	乗鞍高原から優美な姿で知られる乗鞍岳の高山帯にかけて県道乗鞍岳線が作設されており、三本滝上流の標高2,000m付近から位ヶ原山荘付近の標高2,450mにかけての道路の沿線を区域とし、亜高山帯植生から高山帯植生へと変化する地形・巨樹と枯損木の調和等優れた景観を構成している。	天然生林 林地以外	・山小屋 (民間)		

(単位 : ha)

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風景林	浅間・湯の原	44.82	251-1は 251-2い 251-3ほ 251-1い・ろ・に 251-2ろ 251-3い～に 251-1イ 251-3イ～ハ	浅間温泉及び美ヶ原温泉の後背林となってい。林内には、神社及び散策路があり、市民等に親しまれている。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外	・園地 (松本市)		
	ビーナス ライン	28.78	247わ～た・そ・の 248ほ・へ 248に・り 247イ～ハ	三峰山から扇峰に至る比較的なだらかな山稜をなす帯状の一帯であり、ビーナスライン及び信濃路自然歩道の沿線に位置している。カラマツ、コメツガ、カンバ、レンゲツツジ等が、色調に変化のある景観を作り出している。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外			
	権兵衛峠	80.72	1553ろ 1554ろ 1553い・ほ 1554い・ほ～ほ	伊那谷と木曽谷北東部の分水嶺となる権兵衛峠一帯は木曽ヒノキ、サワラ、モミ、コメツガ等が混交する天然林で、歴史のある峠一帯の優れた景観を構成している。	育成 複層林 天然 生林			
計	6箇所	797.91						

(単位 : ha)

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風致探勝林	美ヶ原	546.00	245い～に・へ・と・ぬ～よ 246い・ろ・に・ほ 252ほ・と・り	八ヶ岳中信高原国定公園の一角を占める美ヶ原一帯は、高原台地の牧場と一体となつた矮性化したカラマツ人工林と草原、富士山を始め南北・中央アルプスの山々の眺望等が優れ自然探勝の場として適している。	育成複層林	・歩道(長野県・松本市) ・旅館(民間) ・園地(長野県・松本市)		
			245ほ・ち・り 246は・へ 252い～に・へ・ち・ぬ		天然生林	・建物(長野県) ・林道(長野県)		
			245イ～レ 246イ～ヨ 252イ～ホ		林地以外			
風吹・大池	風吹・大池	115.98	630に・そ 636ほ・ち・ぬ	アオモリトドマツを主体とした亜高山性樹種の天然林からなり、山上湖を囲んでいる。日本海、北アルプス連峰等の眺望が良く、登山の基地として多くの利用者があることから、風致探勝の場として適している。	天然生林	・歩道(小谷村) ・野営場(小谷村) ・園地(小谷村)		
			630イ・ロ		林地以外	・山小屋(小谷村)		
梅池湿原	梅池湿原	364.09	627よ1・そ 628れ1・ね	長野県小谷村「梅池自然園」に隣接した一帯であり、標高1,900～2,200mにわたる池塘を含む高層湿原とわい小化した亜高山樹種の天然林からなっている。優れた高原景観を形成し、自然探勝の場を構成している。	天然生林	・歩道(小谷村)		
			627ロ		林地以外			
野麦峠	野麦峠	93.28	338い～は 340へ・ぬ・る・か・た・そ 341い～は・に・へ・ち・ぬ～よ 342い～は・ほ・と～る	旧野麦街道沿線及び野麦峠一帯にあり、峠や旧街道と一体となつた自然景観を構成しており、自然探勝や憩いの場として利用されている。	育成複層林	・園地(松本市) ・駐車場(松本市)		
			340わ・よ・れ・つ 341ほ・と・り 342に・へ		天然生林			
			338イ、340イ・ロ 341イ、342イ		林地以外			
			計		4箇所	1,119.35		

(参考) レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法等

(単位: ha)

施業方法等	位置 (林小班)	面積
育成 複層林	249れ・そ 623に・ち~ぬ 624い・ろ・へ・ち~る・か・た~つ・な・ゆ 625い	35.69
天然生林	249り・よ 623へ 624は・に・わ・ね・む・ひ・ん1 625ろ~へ・ち~る	116.90
林地以外	249イ~ハ 250イ~ホ 623口 624ハ	62.80

9 国有林野と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備  
及び保全等に関する事項

(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

該当なし

(2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

10 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位:ha)

種類	名称	設定年	面積	位置(林小班)	備考
施業指標林	河鹿沢天然林	S 58年度	4.21	244や	天然林施業体系の確立
	雨飾山天然林	S 59年度	1.90	604わ	天然林施業体系の確立
試験地	白川カラマツ人工林収穫	S 37年度	1.23	1546は	
次代検定林	関長-6(一般)	S 45年度	3.15	242た・れ	アカマツ
	関長-24(一般)	S 53年度	0.35	236ま	スギ
	関長-34(一般)	S 61年度	0.76	582よ	ヒノキ
	関長-35(一般)	S 63年度	0.33	403と	ウラジロモミ
	関長-36(一般)	S 63年度	0.49	403ち	チョウセンゴヨウマツ
遺伝子保存林	長遺-20号	S 52年度	3.26	215へ	カラマツ
特別母樹林	特45-4	S 45年度	1.31	204は	カラマツ
	特45-5	S 45年度	1.68	85ろ	カラマツ
巨樹・巨木	ジャンボカラマツ	H 12年度	(3.59)	1554ほ林小班内	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」(林野庁長官通知)により選定。 ( )書きは、該当する林小班の面積。
森林施業モデル林	育成複層林施業 (針広混交林化)	H 11年度	3.88	244せ	山地災害防止タイプ

(単位:m)

種類	名称	設定年	延長	位置(林小班)	備考
溪畔保全7.0ヘクタール シ・エクト林	ミソ川	H 27年度	1,589	148と・ち・ね・な 149ね・は・に・な・ら	

(2) フィールドの提供

多様な活動の森

(単位 : ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
あがりこサワラの森 (平成30年度設定)	7.28	587は	<p>協定相手方 北安曇郡松川村</p> <p>協定期間 令和12年度末まで</p> <p>目的 馬羅尾国有林内の自然豊かな原生林の森を後世に残すため、地域住民が中心となり、環境保全整備や維持管理の活動を実施する。</p>

## その他附属資料

### （1）国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積	1
② 保安林、自然公園等の面積	2
（2）機能類型別の国有林野の現況	3
（3）林道等の現況	4
（4）収穫予想表	4
（5）地元施設等の現況	4

(1) 国有林野の現状

① 担当区別の区域及び面積

(単位:ha)

担当区	関係市町村	要存置林野		不要存置 林野面積	官行造林地 面積
		面積	関係林班		
有明	安曇野市	6,584.87	201~221		
	松川村	926.83	582~587		
	小計	7,511.70			
上高地	松本市	23,260.71	1~48、70~129		
大野川	松本市	10,205.20	49~69、130~180		
松本	松本市	1,793.30	241~252		
	筑北村				56.63
	小計	1,793.30			56.63
波田	松本市	864.18	233~238、253		
	安曇野市	2,932.58	222~232		
	小計	3,796.76			
奈川	松本市	4,210.02	301~334、336~346、348~426		20.13
鹿島	大町市	8,578.09	501~529		
松川	大町市	21,372.82	530~567、569~581、588、589		
白馬	白馬村	5,083.90	619~629		
小谷	小谷村	7,132.26	601~618、630~636		
奈良井	塩尻市	3,479.20	1501~1568		
贊川	塩尻市	2,547.86	1569~1585、1588~1619		
合計		98,971.82			76.76

② 保安林、自然公園等の面積

(単位: ha)

区分	森林管理署別				
	中信	合計			
保安林	水源かん養保安林	50,759.02		50,759.02	
	土砂流出防備保安林	42,991.31		42,991.31	
	土砂崩壊防備保安林	93.45		93.45	
	飛砂防備保安林				
	防風保安林				
	水害防備保安林				
	潮害防備保安林				
	干害防備保安林	20.99		20.99	
	防雪保安林				
	防霧保安林				
	なだれ防止保安林	65.42		65.42	
	落石防止保安林				
	防火保安林				
	魚つき保安林				
制限林	航行目標保安林				
	保健保安林	(10,380.52)	0.12	(10,380.52)	0.12
	風致保安林				
	計	(10,380.52)	93,930.31	(10,380.52)	93,930.31
	保安施設地区				
	砂防指定地	(18,855.40)	1,548.94	(18,855.40)	1,548.94
	特別保護地区	(21,675.15)	36.49	(21,675.15)	36.49
	第一種特別地域	(11,101.51)	14.01	(11,101.51)	14.01
	第二種特別地域	(10,902.98)	191.59	(10,902.98)	191.59
	第三種特別地域	(5,402.92)	5.40	(5,402.92)	5.40
	地種区分未定特別地域				
	計	(49,082.56)	247.49	(49,082.56)	247.49
	特別保護地区				
	第一種特別地域	(308.26)	116.19	(308.26)	116.19
	第二種特別地域	(70.74)	21.69	(70.74)	21.69
	第三種特別地域	(1,331.96)	3.69	(1,331.96)	3.69
	地種区分未定特別地域				
	計	(1,710.96)	141.57	(1,710.96)	141.57
都道府県立自然公園	第一種特別地域				
	第二種特別地域				
	第三種特別地域				
	地種区分未定特別地域				
	計				
原生自然環境保全地域	原生自然環境保全地域				
	自然環境保全地域特別地区				
	都道府県自然環境保全地域特別地区				
	鳥獣保護区特別保護地区	(9,226.68)	0.03	(9,226.68)	0.03
	都市緑地保全法による緑地保全地区				
	都市計画法による風致地区	(9.71)	0.05	(9.71)	0.05
	林業種苗法による特別母樹林	(3.28)		(3.28)	
	史跡名勝天然記念物	(12,452.38)		(12,452.38)	
	種の保存法による管理地区				
	その他の制限林	(17.60)		(17.60)	
普通林	制限林計	(101,739.09)	95,868.39	(101,739.09)	95,868.39
	國立公園普通地区	(11,890.17)	999.66	(11,890.17)	999.66
普通林	國定公園普通地区				
	都道府県立自然公園普通地区				
	自然環境保全地域普通地区				
	都道府県自然環境保全地域普通地区				
	鳥獣保護区普通地区	(44,750.41)	44.94	(44,750.41)	44.94
	種の保存法による監視地区				
	その他の法指定地域（普通林）				
普通林計		(56,640.58)	1,044.60	(56,640.58)	1,044.60
法指定地域合計		(158,379.67)	96,912.99	(158,379.67)	96,912.99

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha、材積 m<sup>3</sup>)

機能類型 林種	山地災害防止タイプ				快適環境形成タイプ				水源かん養タイプ				自然維持タイプ				森林空間利用タイプ		合計	
	土砂流出崩壊防備	気象害防備	計		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
人工林	育成單層林	5,481.96	1,319.830	786.04	210,073	6,268.00	1,529,903		4,295.30	1,038,157	26.71	6,719	352.78	85,292	10,942.79	2,660,071				
	育成複層林	75.36	19,363			75.36	19,363		73.86	16,069							149.22	35,432		
	小計	5,557.32	1,339.193	786.04	210,073	6,343.36	1,549,266		4,369.16	1,054,226	26.71	6,719	352.78	85,292	11,092.01	2,695,503				
天然林	育成單層林																			
	育成複層林	693.85	114,188	169.69	38,815	863.54	153,003		158.07	31,172	1.09									197,951
	天然生林	38,022.17	5,342,292	4,566.10	616,117	42,588.27	5,953,409		1,358.48	271,172	22,867.60	2,719,078	970.91	177,170	67,785.26	9,125,829				
林地	小計	38,716.02	5,456,480	4,735.79	654,932	43,451.81	6,111,412		1,516.55	302,344	22,868.69	2,719,392	1,025.53	190,632	68,862.58	9,323,780				
	無立木地										13.55									13.55
竹林																				
	林地	44,273.34	6,795,673	5,521.83	865,005	49,795.17	7,660,678		5,899.26	1,356,570	22,895.40	2,726,111	1,378.31	275,924	79,968.14	12,019,283				
合計	林地以外	1,837.47		1,480.01		3,317.48				276.89		14,990.30		419.01	19,003.68					
	小計	46,110.81	6,795,673	7,001.84	865,005	53,112.65	7,660,678		6,176.15	1,356,570	37,885.70	2,726,111	1,797.32	275,924	98,971.82	12,019,283				

## (3) 林道等の現況

(単位: km)

区分	林道			作業道
	自動車道	軽車道	合計	
延長	239		239	150

## (4) 収穫予想表

別表のとおり。

## (5) 地元施設等の現況

(単位: ha)

区分	面積
分 収 造 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林	85.43
分 収 育 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林	7.90
共 用 林 野	普 通
	薪 炭
	放 牧
	合 計
	78.12
	78.12
貸 地	植 樹 用 地
	農 耕 用 地
	鉱 業 用 地
	道 路 用 地
	水 路 用 地
	電 気 事 業 用 地
	温 鉱 泉 用 地
	学 校 用 地
	採 草 放 牧 地
	建 物 用 地
	そ の 他 貸 地
	合 計
	0.36
	160.77
	4.61
	163.28
	13.36
	4.10
	253.33
	599.81

別表

収穫予想表

スギ	1
ヒノキ・サワラ	2
カラマツ	3
アカマツ・クロマツ・レジノーサマツ・ストローブマツ・ヨーロッパアカマツ	4
天然ヒノキ・その他針葉樹	5
広葉樹	6

## 収穫予想表

適用コード： 001

樹種：スギ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	成長率 %
I												
II												
III	6.6	4.2	2,677	22		6.4				7.6	1.5	22
IV	10.3	6.2	2,050	54		6.6	1.5			8.6	3.0	60
V	13.2	8.0	1,576	87		6.8	2.7	6	6	9.0	3.9	103
VI	15.7	9.7	1,282	121		7.0	3.5	10	16	9.2	4.4	148
VII	17.9	11.3	1,114	156		7.0	4.0	11	27	9.2	4.8	194
VIII	19.8	12.8	993	191		7.0	4.5	11	38	9.0	5.1	240
IX	21.5	14.1	900	225		6.8	5.0	11	60	8.6	5.2	285
X	22.9	15.4	931	258		6.6	5.2	10	70	8.2	5.4	328
X I	24.2	16.6	773	289		6.2	5.3	10	80	7.8	5.4	369
X II	25.4	17.8	725	318		5.8	5.3	10	90	6.8	5.5	408
X III	26.4	18.8	690	344		5.2	5.3	8	98	6.4	5.4	442
X IV	27.3	20.0		368		4.8	5.3	8	106	5.6	5.4	474
X V	28.2	21.0		389		4.2	5.3	7	113	5.0	5.3	502
X VI	28.9	21.8		408		3.8	5.1	6	119	4.4	5.2	527
X VII	29.6	22.6		425		3.4	5.0	5	124	3.6	5.1	549
X VIII	30.2	23.6		439		2.8	4.9	4	128	3.0	4.9	567
X IX	30.6	23.8		451		2.4	4.7	3	131	2.6	4.8	582
X X	31.0	24.3		462		2.2	4.6	2	133	2.0	4.6	595
X X I	31.4	24.8		471		1.8	4.5	1	134	1.4	4.5	605
X X II	31.6	25.3		478		1.4	4.3		134	1.0	4.3	612
X X III	31.8	25.8		483		1.0	4.2		134	1.0	4.2	617
X X IV	32.0	26.0		488		1.0	4.1		134	1.0	4.1	622
X X V	32.0	26.0		490		0.4	3.9		134	0.4	3.9	624
X X VI	32.0	26.0		492		0.4	3.8		134	0.4	3.8	626
X X VII	32.0	26.0		494		0.4	3.7		134	0.4	3.7	628
X X VIII	32.0	26.0		496		0.4	3.5		134	0.4	3.5	630
X X IX	32.0	26.0		498		0.4	3.4		134	0.4	3.4	632
X X X	32.0	26.0		500		0.4	3.3		134	0.4	3.3	634

## 収穫予想表

適用コード： 012

樹種：ヒノキ、サワラ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川上流、中部山岳、千曲川下流、伊那谷、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積累計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>	総収穫量 m <sup>3</sup>	成長率 %
I													
II					29		5	5					
III	6.6	4.1	2,878	43		3.4	2.9	6	11	49	5.4	3.3	54
IV	9.2	5.8	2,145	60		4.2	3.0	10	21	70	6.0	3.5	81
V	11.1	7.3	1,730	81		4.6	3.2	9	30	90	6.2	3.6	111
VI	12.8	8.5	1,486	104		4.6	3.5	8	38	112	6.2	3.7	142
VII	14.4	9.6	1,318	127		4.4	3.6	8	46	135	5.8	3.9	173
VIII	15.8	10.5	1,192	149		4.4	3.7	7	53	156	5.6	3.9	202
IX	17.0	11.4	1,100	171		4.4	3.8	6	59	177	5.4	3.9	230
X	18.1	12.3	1,036	193		4.2	3.9	5	64	198	5.2	4.0	257
X I	19.0	13.0	996	214		4.0	3.9	5	69	219	5.0	4.0	283
X II	19.9	13.7	960	234		4.0	3.9	5	74	239	4.8	4.0	308
X III	20.7	14.3	927	254		3.8	3.9	4	78	258	4.6	4.0	332
X IV	21.5	14.8	896	273		3.6	3.9	4	82	277	4.4	4.0	355
X V	22.2	15.3	867	291		3.0	3.9	4	86	295	3.8	3.9	377
X VI	22.9	15.8		306		2.8	3.8	4	90	310	3.4	3.9	396
X VII	23.6	16.2		320		2.4	3.8	3	93	323	3.0	3.8	413
X VIII	24.2	16.6		332		2.2	3.7	3	96	335	2.8	3.7	428
X IX	24.8	17.0		343		2.0	3.6	3	99	346	2.6	3.6	442
X X	25.4	17.3		353		1.8	3.5	3	102	356	2.2	3.6	455
X X I	25.9	17.6		362		1.4	3.4	2	104	364	1.8	3.5	466
X X II	26.4	17.8		369		1.4	3.4	2	106	371	1.8	3.4	475
X X III	26.9	18.0		376		1.2	3.3	2	108	378	1.4	3.3	484
X X IV	27.3	18.2		382		1.0	3.2	1	109	383	1.0	3.2	491
X X V	27.7	18.4		387		0.8	3.1		109	387	0.8	3.1	496
X X VI	28.1	18.6		391		0.8	3.0		109	391	0.8	3.0	500
X X VII	28.5	18.8		395		0.8	2.9		109	395	0.8	2.9	504
X X VIII	28.8	19.0		399		0.4	2.9		109	399	0.4	2.9	508
X X IX	29.1	19.1		401		0.4	2.8		109	401	0.4	2.8	510
X X X	29.4	19.2		403		0.4	2.7		109	403	0.4	2.7	512

## 収穫予想表

適用コード： 022

樹種：カラマツ

施業群：指定なし

適用森林計画区：神通川、庄川、千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷  
宮・庄川、飛騨川、長良川、揖斐川、木曽川、尾張西三河、東三河

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積累計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>	総収穫量 m <sup>3</sup>	成長率 %
I													
II	5.6	5.2	1,800	13									
III	8.9	7.9	1,471	38	5.0	1.3			13	5.8	1.3	13	26.4
IV	12.4	10.2	1,161	72	6.8	2.5	4	4	42	8.6	2.8	42	16.3
V	14.7	12.0	936	96	4.8	3.6	9	13	81	6.8	4.1	85	8.0
VI	17.0	13.6	762	117	4.2	3.8	10	23	106	6.6	4.2	119	6.1
VII	19.1	14.9	646	138	4.2	3.9	12	35	129	6.6	4.3	152	5.1
VIII	20.9	16.0	561	158	4.0	3.9	12	47	150	6.4	4.3	185	4.3
IX	22.7	17.1	501	174	3.2	4.0	12	59	170	5.4	4.3	217	3.2
X	24.1	17.9	462	190	3.2	3.9	11	70	185	5.0	4.1	244	2.7
X I	25.4	18.8	434	205	3.0	3.8	9	79	199	4.6	4.0	269	2.3
X II	26.6	19.4	415	221	3.2	3.7	8	87	213	4.4	3.9	292	2.1
X III	28.0	20.0		233	2.4	3.7	6	93	227	3.4	3.8	314	1.5
X IV	29.0	20.0		243	2.0	3.6	5	98	238	2.8	3.7	331	1.2
X V	30.0	21.0		253	2.0	3.5	4	102	247	2.6	3.5	345	1.0
X VI	31.0	21.0		261	1.6	3.4	3	105	256	2.0	3.4	358	0.8
X VII	31.0	22.0		266	1.0	3.3	2	107	263	1.4	3.3	368	0.5
X VIII	32.0	22.0		271	1.0	3.1	2	109	268	1.4	3.2	375	0.5
X IX	33.0	22.0		275	0.8	3.0	2	111	273	1.0	3.0	382	0.4
X X	33.0	22.0		280	1.0	2.9	1	112	276	1.2	2.9	387	0.4
X X I	34.0	23.0		283	0.6	2.8	1	113	281	0.6	2.8	393	0.2
X X II	35.0	23.0		285	0.4	2.7		113	283	0.4	2.7	396	0.1
X X III	35.0	23.0		287	0.4	2.6		113	285	0.4	2.6	398	0.1
X X IV	36.0	23.0		289	0.4	2.5		113	287	0.4	2.5	400	0.1
X X V	36.0	23.0		290	0.2	2.4		113	289	0.2	2.4	402	0.1
X X VI	37.0	23.0		291	0.2	2.3		113	290	0.2	2.3	403	0.1
X X VII	37.0	23.0		292	0.0	2.2		113	291	0.2	2.2	404	0.1
X X VIII	37.0	23.0		292	0.0	2.2		113	292	0.0	2.2	405	0.0
X X IX	37.0	23.0		292	0.0	2.1		113	292	0.0	2.1	405	0.0
X X X	37.0	23.0		292	0.0	2.0		113	292	0.0	2.0	405	0.0
					0.0	1.9		113	292	0.0	1.9	405	0.0

## 収穫予想表

適用コード： 021

樹種：アカマツ、クロマツ、レジノーサマツ、ストローブマツ、ヨーロッパアカマツ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II	2.4	2.8	3,170	14		1.4			14		1.4	14	14.9
III	5.0	4.8	2,680	28		1.9			28		1.9	28	10.4
IV	7.9	6.7	2,130	44		2.2	2	2	46		2.3	46	9.4
V	10.9	8.5	1,565	60		2.4	9	11	69		2.8	71	8.7
VI	13.6	10.0	1,100	76		2.5	15	26	91		3.0	102	6.9
VII	16.2	11.4	815	91		2.6	15	41	106		3.0	132	5.7
VIII	18.8	12.7	640	106		2.7	14	55	120		3.0	161	4.5
IX	21.0	13.8	545	121		2.7	11	66	132		2.9	187	3.7
X	22.9	14.7	478	134		2.7	11	77	145		2.9	211	3.2
X I	24.8	15.6	421	147		2.7	10	87	157		2.9	234	2.8
X II	26.6	16.4	374	159		2.7	10	97	169		2.8	256	2.2
X III	27.9	17.0	350	170		2.6	7	104	177		2.7	274	1.9
X IV	29.2	17.6	330	181		2.6	6	110	187		2.7	291	1.6
X V	30.0	18.0		191		2.5	5	115	196		2.6	306	1.4
X VI	31.0	19.0		201		2.5	4	119	205		2.6	320	1.2
X VII	32.0	19.0		210		2.5	3	122	213		2.5	332	0.8
X VIII	33.0	20.0		217		2.4	2	124	219		2.4	341	0.5
X IX	34.0	20.0		222		2.3	1	125	223		2.3	347	0.4
X X	34.0	20.0		226		2.3		125	226		2.3	351	0.2
X X I	35.0	21.0		228		2.2		125	228		2.2	353	0.2
X X II	35.0	21.0		230		2.1		125	230		2.1	355	0.2
X X III	36.0	21.0		232		2.0		125	232		2.0	357	0.2
X X IV	36.0	22.0		234		2.0		125	234		2.0	359	0.2
X X V	36.0	22.0		236		1.9		125	236		1.9	361	0.1
X X VI	36.0	22.0		237		1.8		125	237		1.8	362	0.1
X X VII	37.0	22.0		238		1.8		125	238		1.8	363	0.1
X X VIII	37.0	22.0		239		1.7		125	239		1.7	364	0.1
X X IX	37.0	22.0		240		1.7		125	240		1.7	365	0.1
X X X	37.0	22.0		240		1.6		125	240		1.6	365	0.0

## 収穫予想表

適用コード： 032

樹種： その他針葉樹

施業群： 指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計				
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	成長率 %
I												
II												
III												
IV	5.3	3.6	2,760	27		1.4			27		1.4	27
V	7.8	4.4	2,400	42		1.7	2	2	44		1.8	44
VI	9.4	5.5	2,100	59		2.0	4	6	63		2.1	65
VII	11.0	6.7	1,840	79		2.3	6	12	85		2.4	91
VIII	12.5	8.0	1,630	101		2.5	7	19	108		2.7	120
IX	14.3	9.1	1,430	125		2.8	7	26	132		2.9	151
X	16.1	10.2	1,270	148		3.0	9	35	157		3.1	183
X I	17.7	11.1	1,130	170		3.1	10	45	180		3.3	215
X II	19.2	12.0	1,020	191		3.2	11	56	202		3.4	247
X III	20.7	12.7	910	212		3.3	11	67	223		3.4	279
X IV	22.3	13.3	820	232		3.3	12	79	244		3.5	311
X V	23.7	13.9	740	250		3.3	13	92	263		3.5	342
X VI	25.0	14.5	660	266		3.3	13	105	279		3.5	371
X VII	26.0	15.0		280		3.3	12	117	292		3.4	397
X VIII	27.0	16.0		292		3.2	11	128	303		3.4	420
X IX	28.0	16.0		303		3.2	10	138	313		3.3	441
X X	29.0	16.0		312		3.1	9	147	321		3.2	459
X X I	30.0	17.0		320		3.0	8	155	328		3.1	475
X X II	31.0	17.0		327		3.0	7	162	334		3.0	489
X X III	31.0	17.0		332		2.9	6	168	338		2.9	500
X X IV	32.0	18.0		337		2.8	5	173	342		2.9	510
X X V	32.0	18.0		341		2.7	4	177	345		2.8	518
X X VI	33.0	18.0		344		2.6	3	180	347		2.7	524
X X VII	34.0	18.0		347		2.6	3	183	350		2.6	530
X X VIII	34.0	18.0		349		2.5	2	185	351		2.5	534
X X IX	34.0	18.0		352		2.4	1	186	353		2.4	538
X X X	34.0	18.0		354		2.4	1	187	355		2.4	541

## 収穫予想表

適用コード： 042

樹種： 広葉樹

施業群： 指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	幹材積累計 m <sup>3</sup>	幹材積 m <sup>3</sup>	連年成長量 m <sup>3</sup>	平均成長量 m <sup>3</sup>	総収穫量 m <sup>3</sup>	成長率 %
I													
II													
III													
IV	7.0	6.4	2,150	25									
V	8.3	7.7	1,600	35									
VI	9.8	9.7	1,215	47									
VII	11.6	11.1	970	59									
VIII	13.4	12.4	810	71									
IX	15.2	13.2	700	84									
X	17.0	14.8	615	100									
X I	18.7	15.9	540	115									
X II	20.4	17.0	480	127									
X III	21.9	17.8	430	138									
X IV	23.6	18.6	390	149									
X V	25.2	19.3	350	158									
X VI	26.8	20.0	320	168									
X VII	28.0	21.0		176									
X VIII	29.0	21.0		184									
X IX	30.0	22.0		190									
X X	31.0	22.0		195									
X X I	32.0	23.0		200									
X X II	32.0	23.0		206									
X X III	33.0	23.0		210									
X X IV	34.0	24.0		213									
X X V	34.0	24.0		216									
X X VI	34.0	24.0		218									
X X VII	35.0	24.0		220									
X X VIII	35.0	24.0		222									
X X IX	35.0	25.0		223									
X X X	35.0	25.0		224									